MITSUBISHI

三菱 自然冷媒 ヒートポンプ式電気給湯機

季節別時間帯別電灯／時間帯別電灯（通電制御型）

取扱説明書

システム形名チェック欄 □ に、お買い上げの給湯機をチェックしてください。（修理等のお問合わせの際にご利用ください。）

システム形名

一般地向け

- □ SRT-HP37N2
- □ SRT-HP46N2
- □ SRT-HP55N2

寒冷地向け

- □ SRT-HPK37N2
- □ SRT-HPK37ND2
- □ SRT-HPK46N2
- □ SRT-HPK46ND2

※耐塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BS」が付きます。
　耐重塩害仕様タイプはシステム形名の末尾に「-BSG」が付きます。

RMC-HP4

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前にこの「取扱説明書」を必ず読み、大切に保管してください。

●お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。

●「保証書」「据付工事説明書」「据付工事確認書」は、必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。給湯機を他に売ったり譲渡されるときなどには、次の所有者の方へ渡してください。

最初にリモコンを確認ください

リモコンは、「スクエアタイプ」「ラウンドタイプ」の2タイプご用意しています。
ご使用の前に必ずリモコンのタイプを確認してください。

スクエアリモコン

- 音声ガイダンス機能付き
（本書では「音声ガイダンス」と記載）
- 表示部バックライト機能無し

リモコン（RMC-N2）

ラウンドリモコン

- 表示部バックライト機能付き

リモコン（RMC-HP4）

もくじ

ご使用の前に

リモコンの使いかた

スクエアリモコンをお使いの方

ラウンドリモコンをお使いの方

こんなとき

故障かな

ご使用の手順

①必ずお読みください。

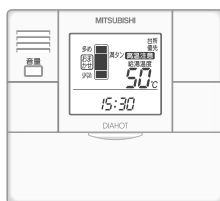
「安全のために必ずお守りください」P.4
「ご使用にあたってのお願い」P.6

※お使いになる際に、必ず守っていただきたいことが記載してあります。

②リモコンの表示を確認します。

表示が点灯している

そのままご使用できます。（③へ）

「残湯なし」の表示がでている場合は を押してください。約8時間でタンク全体のお湯をわかします。

点灯時（例）

表示が消灯している または **タンクに水が入っていない方**

タンクに水を入れる に従ってください。

③お湯を使ってみましょう。

蛇口やシャワーを使う

- 蛇口やシャワーの温度を決める

④お手入れをします。

- 日常のお手入れ（時刻の確認）P.26
- 年に2～3回のお手入れ P.26

早見表 スクエアリモコン

P.9 「蛇口・シャワー」の温度を決める

P.10 時刻を合わせる

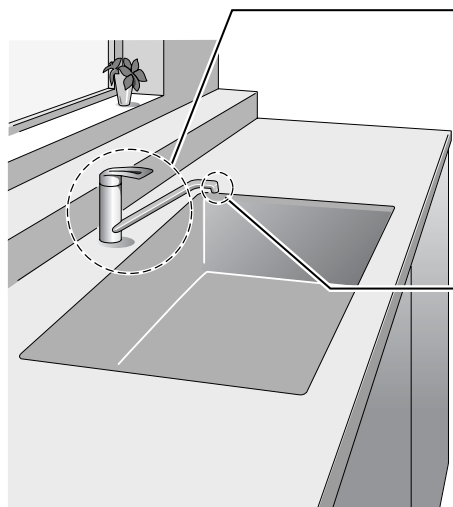
P.13 わき上げモードを設定する

早見表 ラウンドリモコン

P.18 「蛇口・シャワー」の温度を決める

P.19 時刻を合わせる

P.21 わき上げモードを設定する

安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。	注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

■本文中や機器に使われる図記号の意味は次のとおりです。

禁止	指示に従う	感電注意	高温注意	発火注意	回転物注意

やけどを防ぐために!

⚠警告

やけど注意

給湯時は、湯水混合栓に手を触れない

使いはじめは、湯温を確認する

特に朝の使いはじめは、しばらくお湯に触れないでください。
空気の混ざった湯が飛び散ることがあります。

入浴時やシャワー使用時は、必ず、指先などで湯温を確認する

やけど注意

ヒートポンプ配管に手を触れない

給湯温度を変更するときは、他の蛇口の使用状況を確認する

部品名は各部のはたらき（7）をご覧ください。

安全に使用するために

⚠警告	分解禁止 前面カバーや工事用窓を開けない 改造しない
	近くにガス類や引火物を置かない （ガスボンベからは2m以上離す。）　 ヒートポンプユニットの蒸発器のフィンや空気吹出口に手や棒を入れない
	異常（こげ臭いなど）時は、漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「切」にし、お買い上げの販売店または「三菱電機修理窓口 P.43」へ連絡する
⚠注意	**そのまま飲用しない** 長期間のご使用によってタンク内に水あかがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。 ●必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。 ●熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。 ●固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼してください。
	機器に乗ったり、物を乗せたり、配管に力を加えたりしない （事故・やけどの原因になります。）

機器の点検・お手入れに関する注意

⚠警告	漏電遮断器の動作を確認する P.26
	逃し弁の点検をする（タンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。）P.26 ●点検時は内部の配管に手を触れない　●点検終了後、操作窓は閉じる
	アース工事 **アース工事を確認する** （故障や漏電のときに感電することがあります。アースの取付けは、据付工事店（販売店）へお問い合わせください。）
⚠注意	ヒートポンプユニットの架台が傷んだ状態で使用しない （ヒートポンプユニットが落下、転倒し、けがをすることがあります。）
	凍結防止対策の確認をする P.28 （タンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。）　 床面が防水・排水処理されているか据付工事店（販売店）へ確認する （水漏れが起きたとき大きな損害につながることがあります。）
	操作カバー・操作窓・配管カバーは閉じる （雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。）

長期間使用しないとき、使用を再開するとき

⚠警告	長期間使用しないときは、本書の手順に従って、機器と配管内の水を確実に抜く P.30 ●排水時はお湯に手を触れない　●タンクの熱湯を直接排水しない
⚠注意	初めて使用するときや、使用を再開するときは、本書の手順に従う P.32

ご使用にあたってのお願い

お湯を上手に使う

貯湯式なので1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

- シャワーは止めながら
（髪を洗っているときは止めましょう。）
- 洗いものをするときも止めながら

流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

リモコンの時刻を確認する

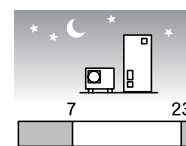
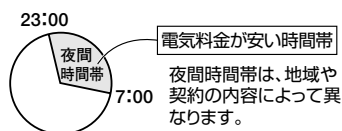
リモコンの時刻がずれた場合は、時刻を合わせ直してください。

時刻がずれていると、電気料金は割高になります。

必ず水道水をご使用ください

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。ただし、水質によっては、タンク・ヒートポンプユニット・減圧弁・逃し弁等の寿命が通常より短くなることがあります。
- 特に温泉水・地下水・井戸水のご使用は機器をご使用いただく期間の水質が、常に水道法の定める水質基準内である担保が取れないため、使用しないでください。（不具合が発生した場合、無償保証できません。）

夜間時間帯のご使用について

この給湯機は主に、夜間時間帯にお湯をわかしますので、**この時間帯にお湯を使うと、昼間にわき増しを行い電気代が高くなる場合があります。**

電気料金が安い夜間時間帯に主にお湯をわかします。

機器周辺部の点検

- 積雪時は機器の周囲を除雪してください。（誤動作や故障の原因）
- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものを置かないでください。（性能低下や故障の原因）

リモコンに水をかけない

- 防水タイプではありません。水をかけないでください。（故障の原因）

浴槽等の点検

浴槽や洗面台はよく洗ってください。
青い線が付きにくくなります。

機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となりますので、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

- 運転音や振動が気になる場所（隣家の迷惑になる場所）
- 一般地向け：最低気温がマイナス10℃以下となる場所
寒冷地向け：最低気温がマイナス20℃以下となる場所
- ヒートポンプユニットの屋内設置
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 冠水する可能性のある場所

各部のはたらき

ヒートポンプユニット

運転中はフィンに結露し、ドレン口から少量の水が出る（温度、湿度により変化します。）**ことがありますが故障ではありません。**

貯湯タンクユニット

上部振れ止め金具

2階以上に据付けた場合、地震のとき製品の転倒を防ぐため、壁に固定する金具です。

操作カバー

漏電遮断器の動作点検をするときに開けます。
つまみねじを回して開けます。

電源レバー 電源を「入」・「切」します。

テストボタン

工事用窓

絶対に開けないでください。

非常用取水栓

非常の際には、タンクの水（お湯）を取り出して生活用水として利用できます。 P34

排水栓

タンクのお湯を排水するときに使用します。P30

排水口

逃し弁、排水栓からのお湯（水）や湯気が出ます。

「わき上げ中」は、逃し弁からの水が少量出ますが故障ではありません。

逃し弁 操作窓

逃し弁の操作や点検をするときに開けます。

逃し弁
わき上げ時の膨張水を排出し、タンク内の圧力上昇を逃がす装置で、タンク内を一定圧力（193kPa）以下にします。

減圧弁
タンクへの給水圧力（170kPa）を保ちます。

タンク

前面カバー

形名表示

貯湯タンクユニットの形名などが記載されています。

水抜き栓

詳細は、P30 参照

脚

脚部カバー（別売）

外しかたなどの詳細は、P30 参照

ドレンホース

万一の水漏れの場合は、ここから排水します。

リモコンのはたらき スクエアリモコン

リモコン（フタを開けた状態です。）

音声ガイダンスの音量を設定できます。 P.11

タンク内の湯のわき増しができます。 P.12

現在時刻を設定したり、変更するとき使用します。 P.10

蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P.9

MITSUBISHI
台所優先
多め
おまかせ
少なめ
高温注意
給湯温度
50℃
20:36
DIAHOT
音量
満タン
当日有効
わき上げ設定
時計合わせ
3秒押し
メニュー送り
決定
給湯温度

[メニュー送り]を使って、以下の設定、表示を行えます。

[メニュー送り]を押す	[メニュー送り]を3秒以上押す
●わき上げモード設定 P.13	●タンク温度表示 P.16
↓	↓
●深夜のみ設定 P.14	●お湯の使用量表示 P.16
↓	↓
●上部わき増し設定 P.14	●電力契約設定 P.16
↓	
●停止日数設定 P.15	

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

残湯量の見かた（詳細は P.37）

ポイント

- 「■」は45℃以上のお湯を表しています。自然放熱などでタンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
- 使用できるお湯の量は、タンク容量で異なります。

「蛇口・シャワー」の温度を決める

蛇口へ行くお湯の温度を設定します。

リモコン

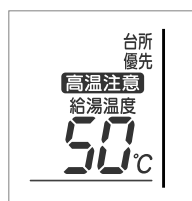
●設定できる範囲

35℃～48℃（1℃刻み）／50℃／60℃
工場出荷時は50℃

※温度は目安です。

1 給湯温度設定スイッチの ▲ または ▼ を押して温度を設定する

▶ ▲ を押すと温度が高くなります。
　▼ を押すと温度が低くなります。

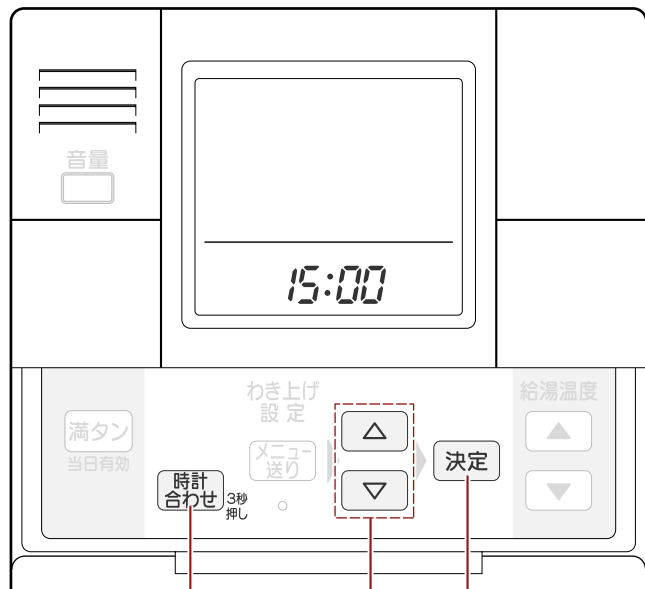
▶設定完了です。（音声ガイダンス）

● 給湯温度を50℃または60℃に設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。（60℃に設定した場合は警告音、音声ガイダンスも流れます。）

ポイント

- タンク内の温度が低いとき（特にわき上げモードが「少なめ」の場合など）は、設定より低い温度のお湯が出ることがあります。
- 蛇口から出るお湯は、配管部分の放熱によって低くなることがあります。
- サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度設定を使用するお湯の温度より10℃以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60℃にし、水と混ぜてご使用ください。

時刻を合わせる

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。

リモコン

1 時計合わせ を3秒以上押す

例）午後3時

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- :点灯、:点滅

2 △ または ▽ を押して時刻を合わせる

▶押すごとに、1分間ずつ数字がかわります。
▶押し続けると表示が連続してかわります。

例）午後3時1分

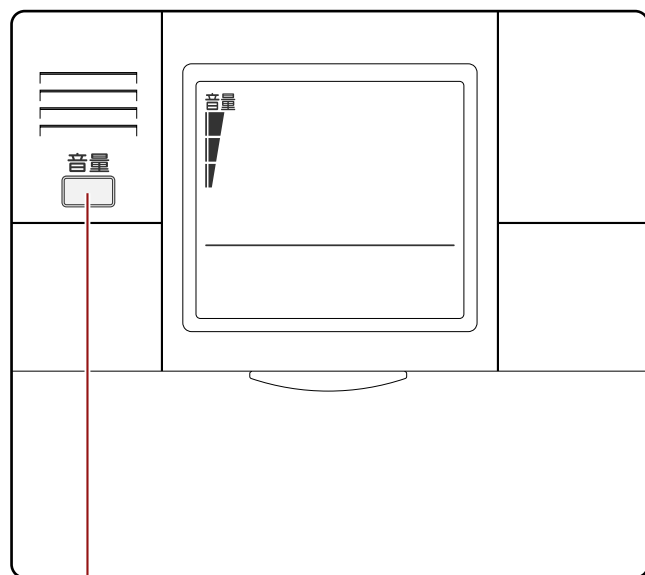
- 表示部の時刻が点滅中に行なってください。

3 時計合わせ または 決定 を押す

▶設定完了です。（音声ガイダンス）

ポイント
- 時計の時刻は停電などにより若干変動します。
- 表示部に「00:00」が点滅している場合は、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。わき上げできません。

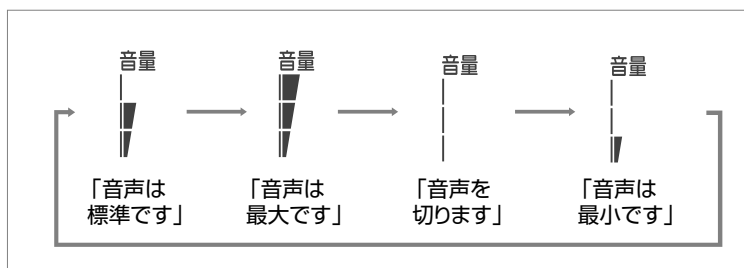
音声ガイダンスの音量を調節する

リモコンの音声ガイダンス（操作を音声でガイドする機能）の音量を変えたり、切ることができます。

1 音量 を押す

▶現在設定されている声の大きさをお知らせします。（音声ガイダンス）

● 工場出荷時は「標準」に設定されています。

2 音量確認（手順1）後、10秒以内に 音量 を押す

▶押すごとに、声の大きさをお知らせします。（音声ガイダンス）

●切（「音声を切ります」）にしても、音量調節を知らせる音声やスイッチ操作音、警告音は消せません。

たくさんお湯を使う（わき増し）

お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。
来客などでたくさんのお湯が必要なときに設定してください。

リモコン

1 満タン を押す

▶表示部に「満タン」が表示されます。
▶設定完了です。（音声ガイダンス）

未設定時

設定時 満タン

● 解除するときは、もう一度「満タン」スイッチを押します。（満タン表示が消えます。）
● ：点灯

2 お湯が約50L減ると わき増しを開始します。

▶わき増し中は、表示部に「わき上げ中」が表示されます。

わき増し時 わき上げ中 満タン

ポイント

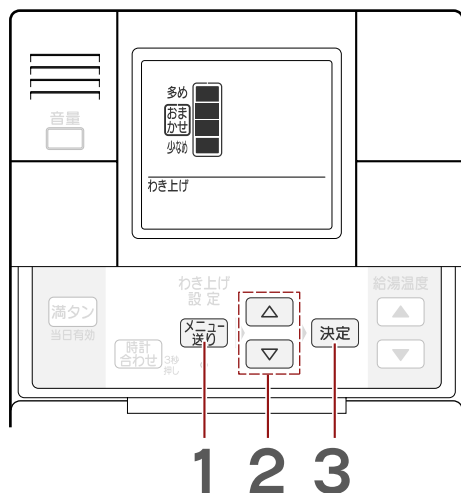
- 満タンわき増しは、一度設定すると、設定したその日（昼間時間帯[注]）は解除されるまで何回でもタンク全体のわき増しを行います。夜間時間帯[注]になると自動的に解除されます。
  注.昼間時間帯、夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。
- わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるので電気料金は割高になります。
- 「深夜のみ」モード設定時でもわき増しを行えます。

わき上げモードを設定する

給湯機のわき上げ動作を決めるためのモードです。**使い始めは「おまかせ」に、特に使用量が多いと思われる場合は、「多め」に設定することをおすすめします。**
また、来客などでたくさんのお湯が必要なときは、「満タン」わき増しをご利用ください。

表示(モード)	わき上げ温度の目安	わき上げ動作内容	注意点
多め	約80～90℃	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。	――
おまかせ	約65～90℃	●季節や過去の使用湯量を学習し、わき上げ温度を適切に設定してわき上げを行います。	●タンク全量をわき上げないことがあります。(学習によりわき上げ量を最小限に調整するためです。) ●わき上げ温度が低い場合、給湯温度設定に制限が発生することがあります。
少なめ	約65～80℃	●季節や過去の使用湯量から、最小限のわき上げを行います。使用量が多いと不足します。「多め」または「おまかせ」に設定してください。	

注1.運転モードを「深夜のみ」でご使用の場合、お湯が少なくなっても昼間時間帯の自動わき上げを行いません。
注2.**ヒートポンプユニットのわき上げ温度は最高90℃ですが、配管の施工条件(長さ・断熱など)と外気温によって、タンク内の温度はわき上げ温度から下がります。**
注3.運転モードが「通常モード」や、「深夜のみモード」で「上部」を設定中は、どのわき上げモードを設定しても、お湯が少なくなると昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。ただし、いつもより多めにお湯を使用した場合、昼間わき上げをしてもお湯が足りなくなることがあります。
注4.運転モードを「深夜のみ」でご使用の場合、わき上げ温度の下限は約75℃になります。(「おまかせ」、「少なめ」の場合)

リモコン

学習機能付き

季節や過去1週間の使用湯量を計算し、ムダなお湯を作らないよう、効率的にわき上げを行います。

※いつもより多めにお湯を使用した場合、昼間わき上げをしてもお湯が足りなくなることがあります。

1 メニュー送り を押す

▶メニューに「わき上げ」が表示されます。
設定されているモードの □ 枠が点滅します。

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- 工場出荷時は、「おまかせ」に設定されています。
- ：点灯、：点滅

2 △ または ▽ を押して モードを選ぶ

▶ □ 枠が移動します。

3 決定 を押す

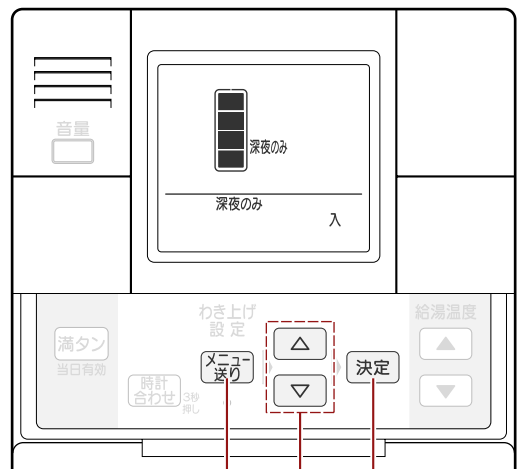
▶設定完了です。(音声ガイダンス)
表示部は時刻表示に戻ります。

- メニュー送り を押しても設定が完了します。(表示が次のメニュー表示となります。)

ポイント ●「おまかせ」、「少なめ」の場合、わき上げ量を少なくするため、タンク内の残湯量が多いときはタンク内の温度が低くなることがあります。

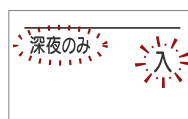
「深夜のみ」のわき上げで使う

「深夜のみ」とは、わき上げを行う時間帯を夜間時間帯のみにするモード設定です。
昼間時間帯のわき上げをとめたい時に設定します。

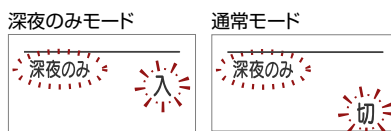
リモコン

モード	表示	動作内容と注意点
通常	上部	過去使用熱量から、夜間時間帯のわき上げでお湯がたりないと予想される場合には、湯切れ防止のため、昼間に自動でわき増しを行います。**使い初めはこのモードでご使用ください。**
深夜のみ 昼間わき増しあり	上部 深夜のみ	夜間時間帯にわき上げた湯量以上のお湯を使ってしまっても、昼間に約50Lのわき増し(目安:シャワー1人分)を自動的に行います。**「通常モード」では、常に残湯表示が2つ以上点灯しているなど、お湯が余る場合にご使用ください。**
深夜のみ	深夜のみ	夜間時間帯のみにわき上げを行ないます。夜間時間帯にわき上げた湯量以上のお湯を使うと、リモコンに「**残湯なし**」が表示され、お湯が使えなくなります。**「通常モード」では、常に残湯表示が2つ以上点灯しているなど、お湯が余る場合にご使用ください。**

※「上部」と「深夜のみ」が共に表示されていない場合は通常モードと同じ動作になります。

1 [メニュー送り] を2回押す

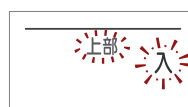
▶メニューに「深夜のみ」が表示されます。

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- ◌:点灯、✳:点滅

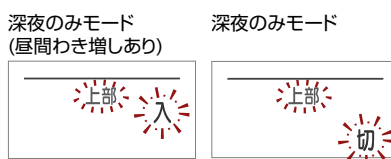
2 [△] または [▽] を押して モードを選ぶ

▶ [△] を押すと「入(深夜のみモード)」に、[▽] を押すと「切(通常モード)」になります。

深夜のみモード

通常モード

3 [メニュー送り] を押す

▶画面に「上部」が表示されます。

4 [△] または [▽] を押して モードを選ぶ

▶ [△] を押すと「入(上部)」に、[▽] を押すと「切」になります。

5 [決定] を押す

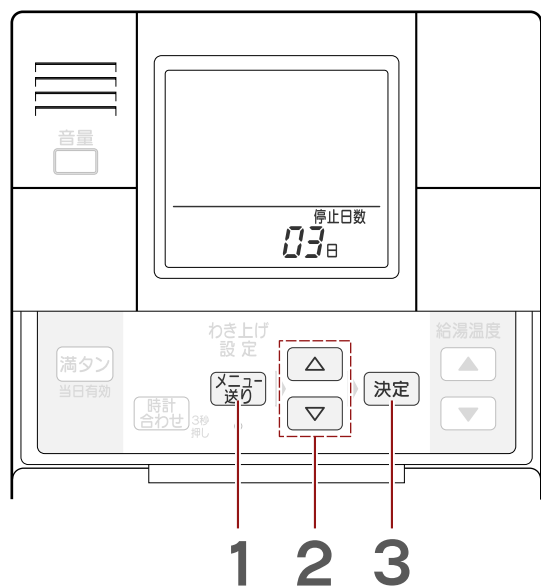
▶**設定完了です。**(音声ガイダンス)
表示部は時刻表示に戻ります。

- [メニュー送り] を押しても設定が完了します。(表示が次のメニュー表示となります。)

ポイント
- 万一、湯切れした場合は、満タンわき増しをご利用ください。(P.12)
- 深夜のみモードで使用して湯切れする場合は通常モードで使用してください。
- 深夜のみモードを設定していても、外気温度が低い時は、凍結防止のため、昼間でもヒートポンプユニットが動作することがあります。

数日間わき上げを停止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだ給湯機のわき上げを停止させ、電気代を節約することができます。

リモコン

わき上げ停止日数の決めかた

例）10月1日に出発し、10月4日に帰宅する
　　3泊4日の旅行の場合

- 出発日（1日）に設定する場合は、停止日数「03」を設定します。
  1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。
  帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

日付	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日
昼間のお湯の使用	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用する

- 出発日の前日に設定する場合は、停止日数「04」を設定します。
  帰宅日には、朝からお湯が使用できますが、出発日にはお湯を使用できません。

〈予定日より早く帰宅した場合〉
まずは停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。その日にお湯を使用するときは、満タンわき増しを使用してください。

1 メニュー送り を4回押す

▶メニューに「停止日数」が表示されます。

- 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。
- ：点灯、：点滅

2 △ または ▽ を押して停止日数を決める

▶ △ を押すと日数が進みます。
　 ▽ を押すと日数が戻ります。
（押し続けると、表示が連続してかわります。）

例）4日

- 設定範囲は、「2〜15日」、「連続停止」です。

表示	停止日数
--日	連続停止
15日	15日
⟆	
02日	2日
00日	解除

- 連続停止（--）を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。

3 決定 を押す

▶設定完了です。（音声ガイダンス）
設定後は、停止日数が表示されます。

- メニュー送り を押しても設定が完了します。

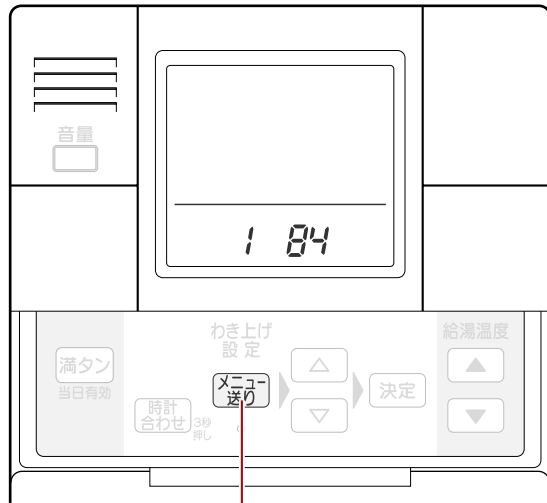
ポイント
- 運転停止中でも配管凍結予防のため、ヒートポンプユニットの運転を行うことがあります。
- 停止期間中に、満タンわき増し、現在時刻の設定を行うと自動解除されます。
- 長期間（1カ月以上）使用しないときは、P30 の手順に従ってください。

こんなこともできます

「メニュー送り」スイッチを使って、「現在のタンク内温度」や「お湯の使用量」を調べることができます。また、「電力契約モード（電力契約に合わせて工事店が設定します。）」を確認することができます。

リモコン

機能番号	表示の意味
1	現在のタンク内温度
2	昨日の給湯使用量※
3	使用しません。
4	過去1週間の1日あたりの平均使用量※ 設置後8日間は多めに表示される場合があります。
EP	電力契約モード

※お湯の使用量（エネルギー）を43℃の給湯量で表示しています。
毎朝、夜間時間帯終了後に更新されます。

1 メニュー送り を3秒以上押す

▶表示部に「現在のタンク内温度」が表示されます。

● 各スイッチ操作は約60秒以内に行なってください。

2 メニュー送り を押して 機能番号を送る

▶押すごとに、番号が進みます。
（1→2→3→4→EP→時刻表示）

● 表示された数字に10をかけた数値が使用量（L）の目安です。
● 表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「24（240L）」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて240L使用したことを表しています。

■電力契約モードの内容（平成19年7月現在）

表示	適用電力制度
EP 01	● 東京電力:電化上手　● 関西電力:はぴeタイム ● 沖縄電力:Eeらいふ
EP 02	● 中部電力:Eライフプラン
EP 03	● 中国電力:ファミリータイム
EP 04	● 北陸電力:エルフナイト10プラス　● 九州電力:電化deナイト
EP 05	● 東北電力:やりくりナイト8　● 東京電力:おトクなナイト8 ● 北陸電力:エルフナイト8　● 中部電力:タイムプラン ● 関西電力:時間帯別電灯　● 四国電力:電化deナイト、得トクナイト ● 九州電力:時間帯別電灯　● 沖縄電力:時間帯別電灯

表示	適用電力制度
EP 06	● 東北電力:やりくりナイト10、やりくりナイトS ● 東京電力:おトクなナイト10 ● 北陸電力:エルフナイト10 ● 九州電力:よかナイト10
EP 07	● 中国電力:エコノミーナイト
EP 08	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯22時～6時）
EP 09	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯23時～7時）
EP 10	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯24時～8時）

注.お客さまの電力契約と合っていない場合は、設定し直してください。

〈設定方法〉手順2の電力契約画面（EP 表示）で、△ または ▽ を押す

リモコンのはたらき ラウンドリモコン

リモコン（フタを開けた状態です。）

MITSUBISHI DIAHOT RMC-HP4

夜間時間帯のみわき上げるモードです。 P22

わき上げモードが設定できます。 P21

現在のタンク内（上部）の湯温を表示します。 P23

電力契約モードを選ぶときに使用します。 P25

タンク内の湯のわき増しができます。 P20

数日間給湯機のわき上げを停止するとき使用します。 P24

蛇口やシャワーに行くお湯の温度を設定できます。 P18

現在時刻を設定したり、変更するとき使用します。 P19

現在時刻を設定したり、変更するとき使用します。 P19

表示部（説明のため、画面はすべての表示が点灯した状態にしてあります。）

残湯量の見かた（詳細は P37）

ポイント

- 「■」は45℃以上のお湯を表しています。自然放熱などでタンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
- 使用できるお湯の量は、タンク容量で異なります。

「蛇口・シャワー」の温度を決める

蛇口へ行くお湯の温度を設定します。

リモコン

●設定できる範囲

35℃～48℃（1℃刻み）／50℃／60℃ 工場出荷時は50℃

※温度は目安です。

1 給湯温度設定スイッチの または を押して温度を設定する

▶ ▲ を押すと温度が高くなります。
　▼ を押すと温度が低くなります。

▶設定完了です。

● 給湯温度を50℃または60℃に設定した場合、リモコンに「高温注意」が表示されます。（60℃に設定した場合は警告音も鳴ります。）

ポイント

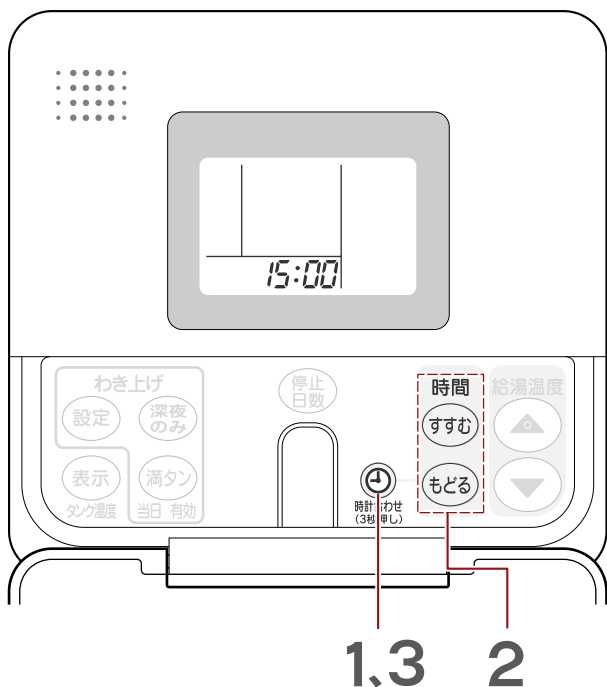
● タンク内の温度が低いとき（特にわき上げモードが「少なめ」の場合など）は、設定より低い温度のお湯が出ることがあります。

● **蛇口から出るお湯は、配管部分の放熱によって低くなることがあります。**

● サーモスタット付湯水混合栓の場合は、給湯温度設定を使用するお湯の温度より10℃以上高くしてください。また、シャワー出湯量が少ない場合は、給湯温度設定を60℃にし、水と混ぜてご使用ください。

時刻を合わせる

リモコンの時刻を正確な時刻に合わせてください。

リモコン

1 を3秒以上押す

時計合わせ（3秒押し）

例）午後3時

- 各スイッチ操作は約10秒以内に行なってください。
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」を、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。
- ：点灯、：点滅

2 すすむ または もどる を押して時刻を合わせる

▶押すごとに、1分間ずつ数字がかわります。
▶押し続けると表示が連続してかわります。

例）午後3時1分

- 表示部の時刻が点滅中に行なってください。

3 を押す

▶設定完了です。

ポイント
- 時計の時刻は停電などにより若干変動します。
- 表示部に「00:00」が点滅している場合は、上記手順2からの操作を行なって時刻を合わせてください。わき上げできません。

たくさんお湯を使う（わき増し）

お湯がたりなくならないように、減ってきたらそのつどお湯をわき上げる機能です。
来客などでたくさんのお湯が必要なときに設定してください。

リモコン

1 満タン を押す

▶表示部に「満タン」が表示されます。
▶**設定完了です。**

未設定時

設定時

- 解除するときは、もう一度「満タン」スイッチを押します。（満タン表示が消えます。）
- :点灯

2 お湯が約50L減るとわき増しを開始します。

▶わき増し中は、表示部に「わき上げ中」が表示されます。

わき増し時

ポイント

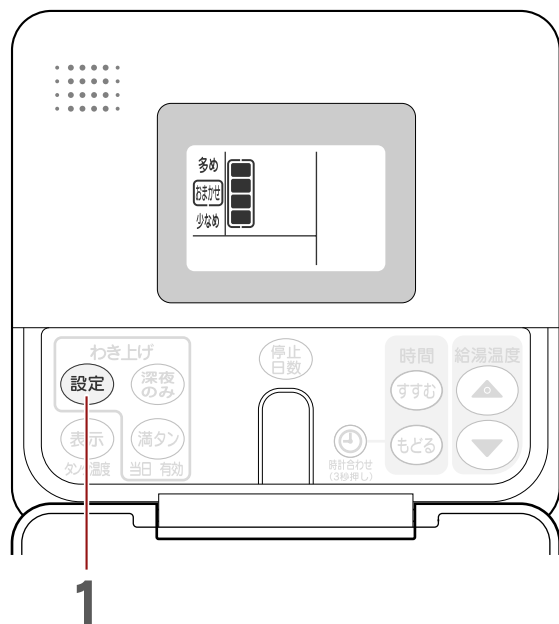
- 満タンわき増しは、一度設定すると、設定したその日（昼間時間帯[注]）は解除されるまで何回でもタンク全体のわき増しを行います。夜間時間帯[注]になると自動的に解除されます。
  注.昼間時間帯、夜間時間帯は地域や電力契約の内容によって異なります。
- わき増しは、昼間電力でタンク内をわき上げるので電気料金は割高になります。
- 「深夜のみ」モード設定時でもわき増しを行えます。

わき上げモードを設定する

給湯機のわき上げ動作を決めるためのモードです。**使い始めは「おまかせ」に、特に使用量が多いと思われる場合は、「多め」に設定することをおすすめします。**
また、来客などでたくさんのお湯が必要なときは、「満タン」わき増しをご利用ください。

表示（モード）	わき上げ温度の目安	わき上げ動作内容	注意点
多め	約80～90℃	●最高のわき上げ温度でわき上げを行います。来客などでお湯をたくさん使用することが予測されるときは、前日に設定しておくことをおすすめします。	―
おまかせ	約65～90℃	●季節や過去の使用湯量を学習し、わき上げ温度を適切に設定してわき上げを行います。	●タンク全量をわき上げないことがあります。（学習によりわき上げ量を最小限に調整するためです。） ●わき上げ温度が低い場合、給湯温度設定に制限が発生することがあります。
少なめ	約65～80℃	●季節や過去の使用湯量から、最小限のわき上げを行います。使用量が多いと不足します。「多め」または「おまかせ」に設定してください。	

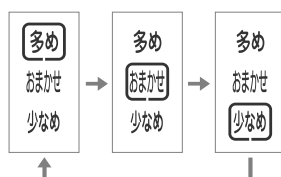
注1.運転モードを「深夜のみ」でご使用の場合、お湯が少なくなっても昼間時間帯の自動わき上げを行いません。
注2.**ヒートポンプユニットのわき上げ温度は最高90℃ですが、配管の施工条件（長さ・断熱など）と外気温によって、タンク内の温度はわき上げ温度から下がります。**
注3.運転モードが「通常モード」の場合、どのわき上げモードを設定しても、お湯が少なくなると昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。
　ただし、いつもより多めにお湯を使用した場合、昼間わき上げをしてもお湯が足りなくなることがあります。
注4.運転モードを「深夜のみ」でご使用の場合、わき上げ温度の下限は約75℃になります。（「おまかせ」、「少なめ」の場合）

リモコン

学習機能付き
季節や過去1週間の使用湯量を計算し、ムダなお湯を作らないよう、効率的にわき上げを行います。

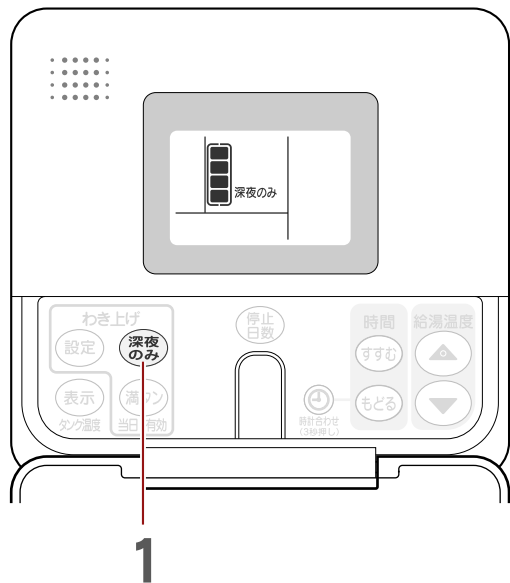
※いつもより多めにお湯を使用した場合、昼間わき上げをしてもお湯が足りなくなることがあります。

1 設定 を押す

▶押すごとに表示が切り換わります。
▶□枠が移動します。
▶設定完了です。

●工場出荷時は、「おまかせ」に設定されています。
●：点灯

ポイント ●「おまかせ」、「少なめ」の場合、わき上げ量を少なくするため、タンク内の残湯量が多いときはタンク内の温度が低くなることがあります。

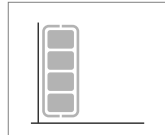
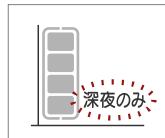
「深夜のみ」のわき上げで使う

「深夜のみ」とは、わき上げを行う時間帯を夜間時間帯のみにするモード設定です。
昼間時間帯のわき上げをとめたい時に設定します。

リモコン

モード	表示	動作内容と注意点
通常モード		過去の使用湯量からお湯がたりないと予想される場合には、湯切れ防止のため、昼間時間帯にも自動でわき増しを行います。深夜のみモードに比べ、昼間時間帯でもわき増し行うため、**電気代が高めになることがあります。**
深夜のみモード	深夜のみ	電気代の安い夜間時間帯のみわき上げるモードです。**ただし、夜間時間帯にわき上げた湯量以上のお湯を昼間使うと、タンク内のお湯がなくなり、リモコンに「残湯なし」が表示されたり、お湯が使えなくなったりします。**

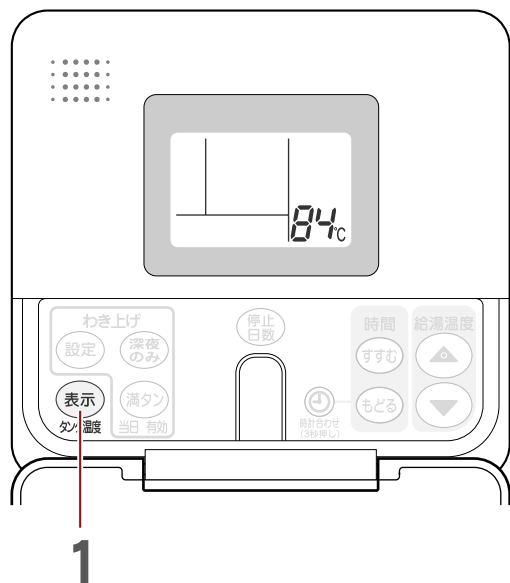
1 深夜のみ を押す

▶表示部に「深夜のみ」が表示されます。
▶設定完了です。

● ：点灯

ポイント
- 万一、湯切れした場合は、満タンわき増しをご利用ください。（P20）
- 「深夜のみモード」を設定する場合の目安
  「通常モード」でご使用いただき、お湯がいつもあまるなど、使用量が少ない場合（残湯量表示部に「残湯なし」が表示（点滅または点灯）されない場合）がご使用の目安です。「残湯なし」が表示される場合は、「通常モード」でご使用ください。
  ※上記の内容は目安ですので、深夜のみモードで使用して湯切れする場合は通常モードで使用してください。
- 深夜のみモードを設定していても、外気温度が低い時は、凍結防止のため、昼間でもヒートポンプユニットが動作することがあります。

タンク内の湯温を表示する

貯湯タンクユニットのタンク内上部の温度を表示します。

リモコン

1 を押す

▶「給湯温度」が消え、タンク内の湯温表示になります。
約10秒間表示後、給湯温度を表示します。

● ：点灯

ポイント

- わき上げ温度はヒートポンプユニットでわき上げるお湯の温度です。途中の配管の放熱などにより、タンクにたまるお湯の温度は、わき上げ温度よりも低くなります。（ヒートポンプ配管が、断熱材20mm、外気温度マイナス7℃、15m配管の場合、配管での放熱ロスによる温度低下は約5℃です。外気温度、湿度等の条件、各部の放熱ロスを含めると、この条件でタンクに貯まるお湯の温度は、わき上げ温度よりも約10℃低下することがあります。）
- タンク内の湯温は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、わき上げ温度よりも低く表示されることがあります。（通常、温度の低下は、1時間に約1℃ですが、外気温度によってはそれ以上低下することがあります。）
- わき上げ中は、タンク内の湯温表示が変動することがあります。

数日間わき上げを停止するとき

旅行などで数日間お湯を使用しないときに、指定した日数のあいだ給湯機のわき上げを停止させ、電気代を節約することができます。

リモコン

1、2

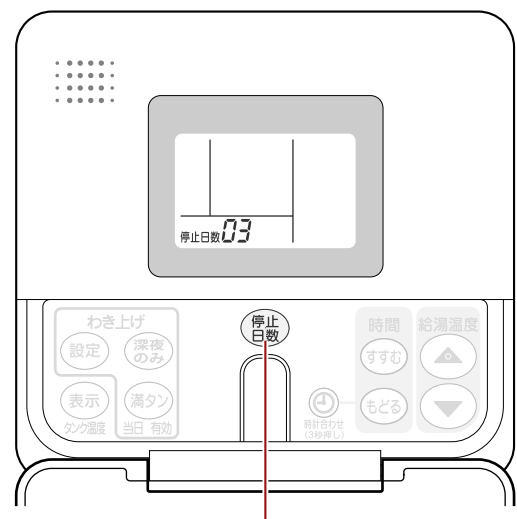
わき上げ停止日数の決めかた

例）10月1日に出発し、10月4日に帰宅する
　3泊4日の旅行の場合

- **出発日（1日）に設定する場合は、停止日数「03」を設定します。**
  1日、2日、3日の昼間の使用を止めるので「03」を設定します。
  帰宅日には、朝からお湯が使用できます。

日付	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日
昼間のお湯の使用	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用しない（停止）	使用する

- **出発日の前日に設定する場合は、停止日数「04」を設定します。**
  帰宅日には、朝からお湯が使用できますが、出発日にはお湯を使用できません。

〈予定日より早く帰宅した場合〉
まずは停止日数を解除してください。翌朝からお湯が使用できるようになります。その日にお湯を使用するときは、満タンわき増しを使用してください。

1 停止日数 を押す

▶「停止日数」が表示されます。

● ：点灯

2 設定する日数が表示されるまで 停止日数 を押す

▶押すごとに表示部の停止日数が進みます。（押し続けると、表示が連続して進みます。）

▶**設定完了です。**
設定後は、停止日数が表示されます。

例）4日

● 設定範囲は、「2～15日」、「連続停止」です。

表示	停止日数
--	連続停止
15	15日
⟆	
02	2日
13:50 現在時刻表示	解除

● 連続停止（--）を設定した場合、解除するまでわき上げを行いません。

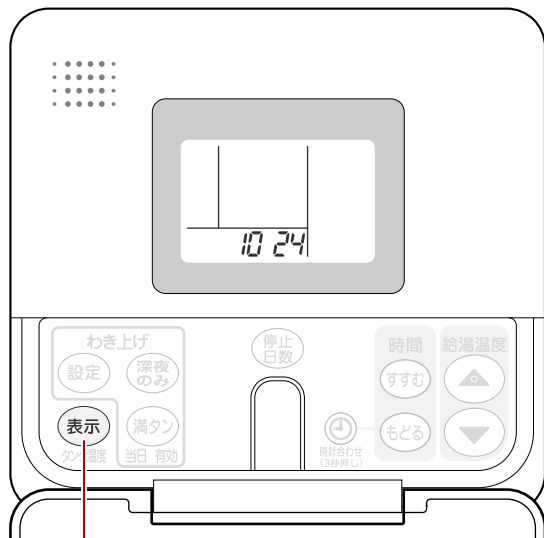
ポイント
- 運転停止中でも配管凍結予防のため、ヒートポンプユニットの運転を行うことがあります。
- 停止期間中に、満タンわき増し、現在時刻の設定を行うと自動解除されます。
- 長期間（1カ月以上）使用しないときは、P30の手順に従ってください。

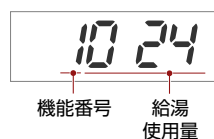
こんなこともできます

「お湯の使用量」を調べることができます。
また、「電力契約モード（電力契約に合わせて工事店が設定します。）」を確認することができます。

リモコン

機能番号	表示の意味
1	昨日の給湯使用量※
2	使用しません。
3	過去1週間の1日あたりの平均使用量※ 設置後8日間は多めに表示される場合があります。
EP	電力契約モード

※お湯の使用量（エネルギー）を43℃の給湯量で表示しています。
毎朝、夜間時間帯終了後に更新されます。

1 表示 を3秒以上押す

▶表示部に「昨日の給湯使用量」が表示されます。

● 各スイッチ操作は約10秒以内に行なってください。

2 表示 を押して 機能番号を送る

▶押すごとに、番号が進みます。
（1→2→3→EP→時刻表示）

● 表示された数字に10をかけた数値が使用量（L）の目安です。
● 表示されるお湯の使用量は、タンク内のお湯の使用量と異なります。例えば、昨日の給湯使用量表示が「24（240L）」の場合、タンク内の熱いお湯と水を混ぜて240L使用したことを表しています。

■電力契約モードの内容（平成19年7月現在）

表示	適用電力制度
EP 01	● 東京電力:電化上手 ● 関西電力:はぴeタイム ● 沖縄電力:Eeらいふ
EP 02	● 中部電力:Eライフプラン
EP 03	● 中国電力:ファミリータイム
EP 04	● 北陸電力:エルフナイト10プラス ● 九州電力:電化deナイト
EP 05	● 東北電力:やりくりナイト8 ● 東京電力:おトクなナイト8 ● 北陸電力:エルフナイト8 ● 中部電力:タイムプラン ● 関西電力:時間帯別電灯 ● 四国電力:電化deナイト、得トクナイト ● 九州電力:時間帯別電灯 ● 沖縄電力:時間帯別電灯

表示	適用電力制度
EP 06	● 東北電力:やりくりナイト10、やりくりナイトS ● 東京電力:おトクなナイト10 ● 北陸電力:エルフナイト10 ● 九州電力:よかナイト10
EP 07	● 中国電力:エコノミーナイト
EP 08	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯22時〜6時）
EP 09	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯23時〜7時）
EP 10	● 北海道電力:ドリーム8、ドリーム8エコ（夜間時間帯24時〜8時）

注.お客さまの電力契約と合っていない場合は、設定し直してください。

〈設定方法〉手順2の電力契約画面（EP 表示）で、すすむ または もどる を押し、表示 で決定

お手入れと点検

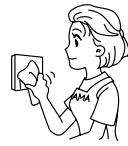
日常のお手入れ

❑時刻の確認

時刻がずれていると電気料金が高くなってしまいますので、1カ月に1回程度確認を行なってください。ずれている場合は、リモコンで時刻を合わせ直してください。（スクエアリモコンP.10、ラウンドリモコンP.19）

❑リモコンのお手入れ

表面が汚れたときは、乾いた布や固くしぼった布で拭いてください。

ポイント ● ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使用しないでください。変形や変色の原因になります。

1年に2～3回程度のお手入れと点検

❑漏電遮断器の動作点検

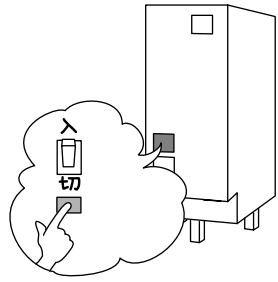
漏電遮断器の点検は、電源供給中に行なってください。

①操作カバーを開け、テストボタンを押す

電源レバーが「入」→「切」になれば正常です。

②必ず電源レバーを上げ、「入」に戻す

⚠警告	漏電遮断器の動作を確認する（感電の原因）

ポイント ● 電源レバーが「切」にならない場合は、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑逃し弁の点検

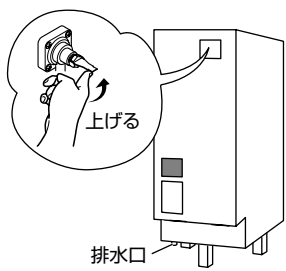
動作点検と水漏れ点検を行います。

〈動作点検〉 逃し弁のレバーを上げて逃し弁を開き、排水口から水（お湯）が出ることを確認します。水（お湯）が出れば正常です。

〈水漏れ点検〉 わき上げをしていないとき（リモコンに「わき上げ中」が表示されていないとき）、排水口から水（お湯）が出ていないかを確認します。水（お湯）が出ていなければ正常です。水（お湯）が出ている場合は、逃し弁のレバーを数回、上下に動かしてください。

⚠警告	点検時は、配管に手を触れない（やけどの原因）

⚠注意	逃し弁の点検をする タンクや配管が破裂してやけどの原因になります。

ポイント
- 逃し弁は高い位置に付いていますので、踏み台などを使用して、点検を行なってください。（点検時は、転倒しないよう注意してください。）
- 動作点検、水漏れ点検を行って正常ではない場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑配管の点検

配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、据付工事店（販売店）にご連絡ください。特に冬期に入る前には、必ず保温材のチェックを行なってください。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。

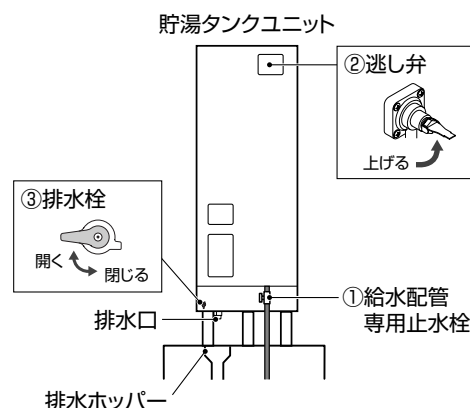
⚠注意	配管を点検をする マンションなど、中・高層住宅では水漏れが起きた場合、下層階に被害を及ぼすことがあります。

ポイント
- 本体や周辺配管などから水漏れが生じた場合は、給水配管専用止水栓を閉じ、200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーを「切」にして据付工事店（販売店）へご連絡ください。

❑貯湯タンクのお手入れ

①給水配管専用止水栓を閉じる
②逃し弁のレバーを上げる
③排水栓を約1～2分間開く
タンクの下部にたまった汚れを排水します。
排水ホッパーから排水があふれないように
排水栓を調整してください。
④汚れがなくなったら排水栓を閉じる
汚れが多い場合は、数回繰り返します。
⑤給水配管専用止水栓を開く
⑥排水口から勢いよく水が出たら、逃し弁のレバーを下げる

⚠警告	排水時はお湯に手を触れない（やけどの原因）

ポイント
- **給水配管専用止水栓の取付位置が不明な場合は、据付工事店へご連絡ください。**
- わき上げ中（リモコンに「わき上げ中」が表示されているとき）は行わないでください。
- タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管（溝）のゴミつまりなども点検してください。ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため据付工事店（販売店）へご連絡ください。（有償）

わき上げ中の表示

凍結防止

寒い季節になったら、凍結防止処置（凍結防止ヒーターのプラグを入れる、凍結予防運転を設定する）が行われているか、必ず確認してください。各配管に保温工事がしてあっても、冬期は本体周囲温度が0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損したり、リモコンにエラーが表示されたりすることがあります。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）据付工事店（販売店）へ相談し適切な凍結防止対策をしてください。

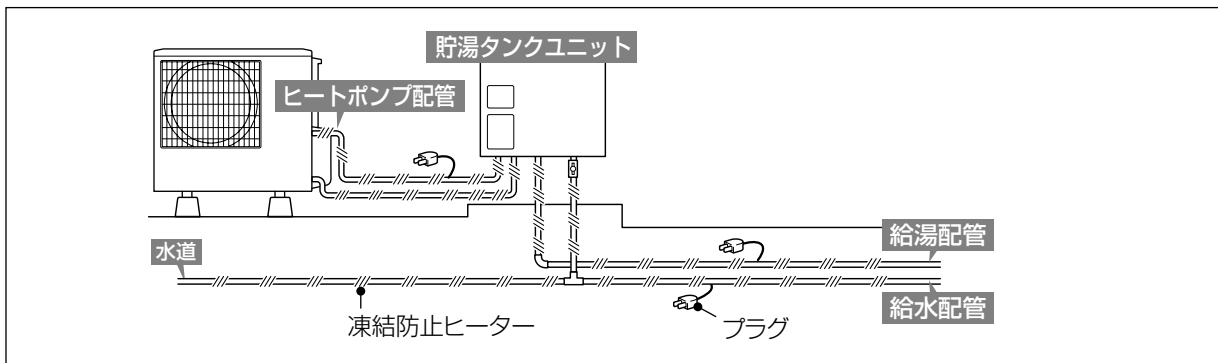
⚠注意

- 凍結防止処置の確認をする

  凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。

ポイント
- 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットの凍結防止のため、タンク内にお湯がない場合、ヒートポンプユニットを動作させて凍結防止運転を行います。（運転停止日数が設定されている場合や運転モードが「深夜のみ」に設定されている場合でも、凍結防止のため動作することがあります。）

❑凍結防止ヒーター（市販品）を使う

凍結防止ヒーターが図のように巻かれているか確認します。使用するときは、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。凍結しない季節はコンセントからプラグを抜いておきます。

ポイント
- 配管が凍結した場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。

停電・断水時など

❑停電したとき

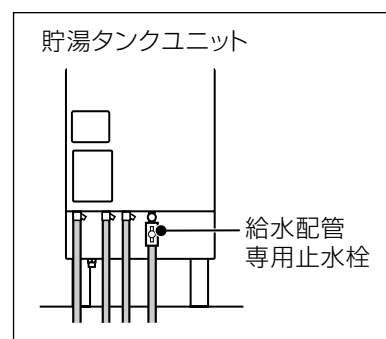
この給湯機はメモリ機能がついていますのでお客さまが設定した「時刻」や「わき上げ温度」などは記憶されています。**ただし、時刻がずれることがありますので、必ず時刻を合わせ直してください。**

- **停電終了後、リモコンの設定は、停電前の設定に戻ります。**
- **わき上げ中に停電した場合は、停電終了後にわき上げを行います。**

ポイント ● 正確な時刻に合わせていないと、電気料金が割高になる場合があります。

❑断水したとき

①断水したときや近くで水道工事が行われるときは、給水配管専用止水栓を閉じてください。（閉じると給湯機からのお湯が止まります。）閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯タンクユニットのストレーナー部が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。

②工事が終了したら、蛇口の水側を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給水配管専用止水栓を開いて使用を再開してください。

❑給湯をとめるとき

湯水混合栓のパッキンの交換などで、給湯機からの給湯をとめるときは、水道の元栓と給水配管専用止水栓を閉じてください。

ポイント ● パッキン交換などの作業を行う場合、一度、蛇口を開き、お湯が出なくなったことを確認してから作業を行なってください。

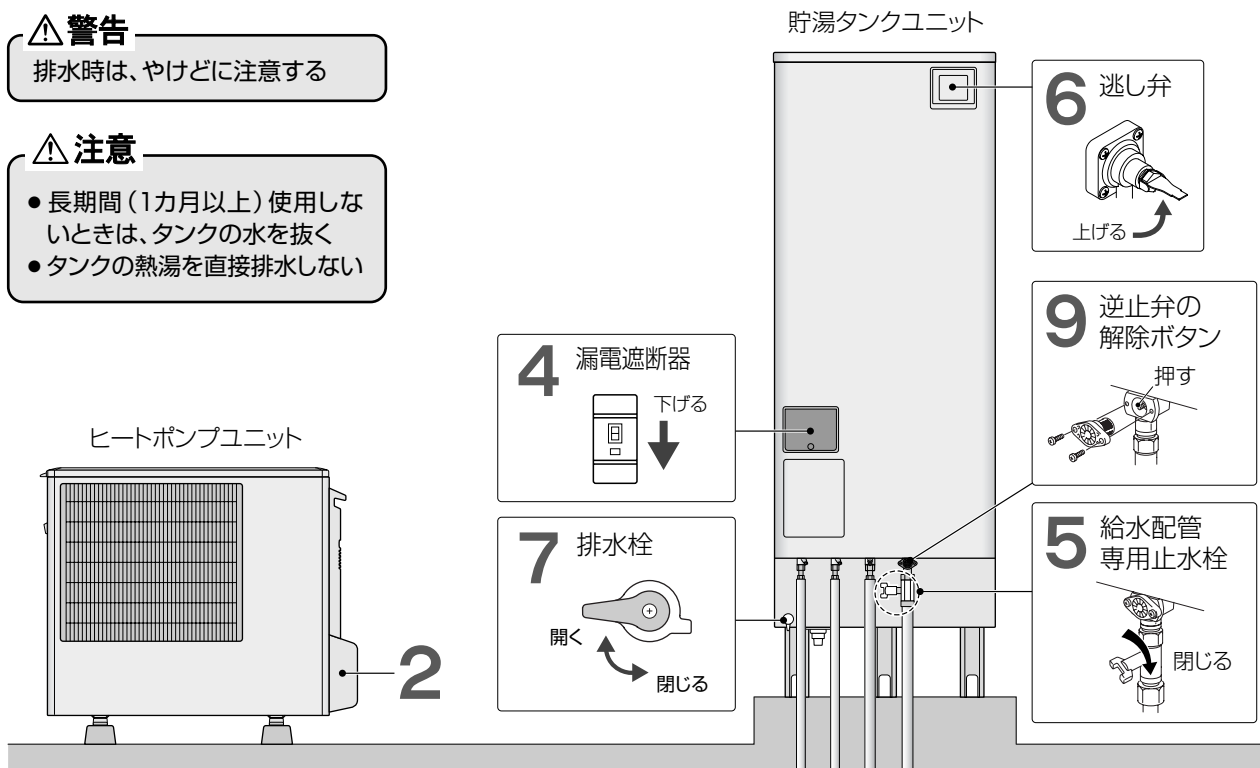
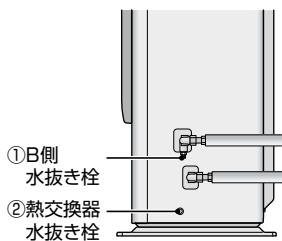
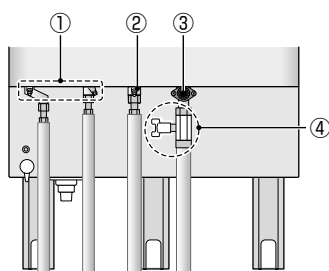
長期間使用しない

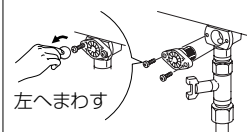
長期間（1カ月以上）使用しないときは、運転を止め貯湯タンクユニット、ヒートポンプユニットの水を抜きます。また、凍結による不具合防止のため、給湯機の通電を行なわないときは、下記要領で水抜きを行なってください。水抜きを行わないと凍結により機器が破損することがあります。

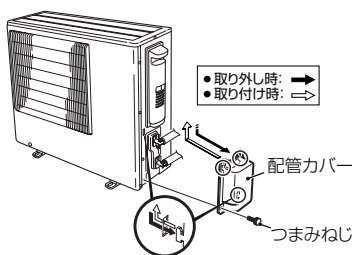
⚠警告

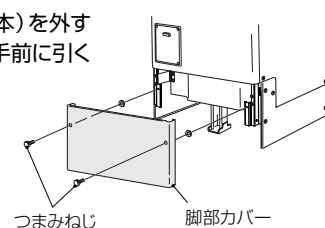
排水時は、やけどに注意する

⚠注意

- 長期間（1カ月以上）使用しないときは、タンクの水を抜く
- タンクの熱湯を直接排水しない

①	ヒートポンプ配管用水抜き栓
②	給湯配管用水抜き栓
③	ストレーナー
④	給水配管専用止水栓

「④給水配管専用止水栓」が図の位置に取り付けられていない場合は、据付工事店へ取付位置を確認してください。

配管カバーの外しかた

（1）つまみねじ（1本）を外す
（2）配管カバーを下方にずらしてツメを外し、手前に引く

脚部カバーの外しかた

（1）つまみねじ（2本）を外す
（2）脚部カバーを手前に引く

	手順	補足
1	**前日から準備できる（タンクのお湯を抜くことがわかっている）場合、わき上げ停止日数を「2日」に設定し、わき上げを停止する**	●あらかじめ前日に設定しておけば、ムダにお湯をわき上げることがなくなります。 ●わき上げ停止日数の設定方法 スクエアリモコン: P15 ラウンドリモコン: P24
2	**ヒートポンプユニットの配管カバーを外す（貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの前面カバーも外す）**	
3	**タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓（例えば台所など）を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出す**	●熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓を閉じてください。
4	**貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを下げ、「切」にする**	
5	**給水配管専用止水栓を閉じる** 貯湯タンクユニットへの給水を止めます。	
6	**貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる** タンクへ空気を取り入れます。	
7	**貯湯タンクユニットの排水栓を開く** タンクの水（お湯）を抜きます。水が抜けるまでに約1時間かかります。	●排水ホッパーから排水があふれないように排水栓を調整してください。 ●排水直後に逃し弁のレバーを下げないでください。
8	**タンクの排水が終わったら、機器の水抜き（図に示す各ユニットの水抜き栓を開く）をする** 配管の水（お湯）を抜きます。容器などで受けて排水します。	
9	**給水配管のストレーナーを外し、逆止弁の解除ボタンを押す** 配管の水（お湯）を抜きます。容器などで受けて排水します。	●**水が飛び散る場合がありますので、ご注意ください。**
10	**手順8、9完了後、1時間程度放置してから、水抜き栓、排水栓を閉じ、ストレーナーを取り付ける**	
11	**手順2で外したヒートポンプユニットの配管カバーを取り付ける**	●手順2で外した脚部カバーの前面カバーも取り付けてください。

ポイント

- 排水直後に逃し弁のレバーを下げないでください。タンクが負圧になり破損する原因となります。（逃し弁のレバーは再び使用するときまで下げないでください。）
- 再び使用するときは、排水栓、水抜き栓が閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる（P32）を行なってください。

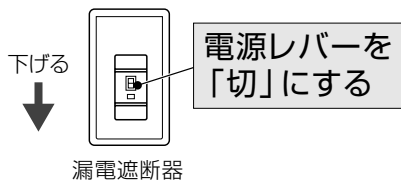
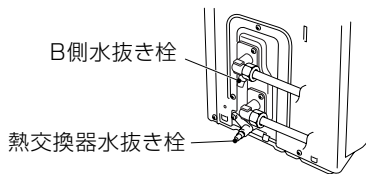
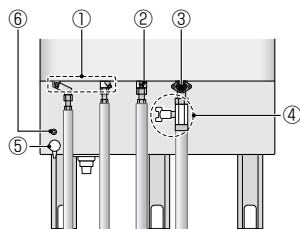
タンクに水を入れる

タンクの水抜きを行なった場合、下記の手順で給湯機の使用を再開します。
またタンクの水抜きをせずに1カ月以上お湯を使用しなかった場合は、P.32 に従い、いったんタンクの水抜きをしてから次の手順を行なってください。
必ず、手順通りに行なってください。わき上げできない場合やエラーが表示されることがあります。

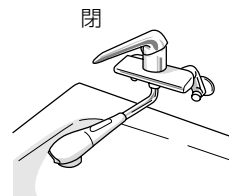
※給湯機を初めてご使用になる場合など、方法がわからないときは、据付工事店（販売店）へご相談ください。

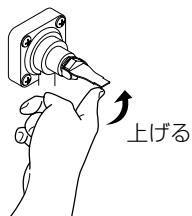
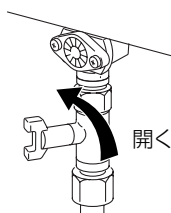
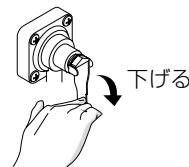
製品形名に「D」の付くタイプは、貯湯タンクユニットを初期状態にしてから（右記手順）、以下の手順を行なってください。	（1）200V電源ブレーカーを「入」にする （2）漏電遮断器の電源レバーを「切」にする （3）漏電遮断器の電源レバーを約30秒間「入」にしたあと、再び「切」にする （4）200V電源ブレーカーを「切」にする

1.以下のことを確認する

（1）貯湯タンクユニットの漏電遮断器が「切」になっていることを確認し、「入」になっている場合は、電源レバーを下げ、「切」にする

（2）ヒートポンプユニットの配管カバーを開け（P.30）、水抜き栓（2カ所）が閉じていることを確認する（開いている場合はすべて閉じてください。）

（3）貯湯タンクユニットの排水栓、水抜き栓、ストレーナー、非常用取水栓が閉じていることを確認する（開いている場合はすべて閉じてください。）

①	ヒートポンプ配管用水抜き栓
②	給湯配管用水抜き栓
③	ストレーナー
④	給水配管専用止水栓
⑤	排水栓
⑥	非常用取水栓

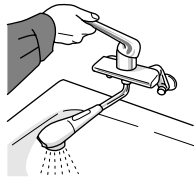
- 脚部カバーがついている場合は、脚部カバーの前面カバーを外してから行なってください。（P.30）

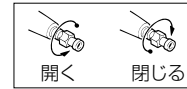
（4）すべての蛇口（湯水混合栓）が閉じていることを確認する

2.機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）を満水にする

（1）貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる

（2）給水配管専用止水栓を開き、貯湯タンクユニットへ給水する

（3）貯湯タンクユニットが満水になったら、逃し弁のレバーを下げる

- タンクが満水になると排水口から水がでます。（満水までの目安:約30分）

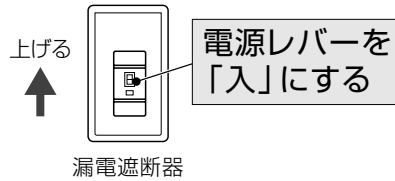
- 機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）を満水にしてから電源を入れてください。
- タンクが満水になるまで蛇口（湯水混合栓）は開けないでください。
流量センサーの故障の原因となります。
- 給水配管専用止水栓は閉じないでください。
- 給水中は排水口から少量の水が出ますが故障ではありません。

3.機器（貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット）の空気を抜く

（1）蛇口（湯水混合栓）のお湯側を開き（1カ所）、空気が混ざらなくなったら閉じる

（2）ヒートポンプユニットの水抜き栓（2カ所）を開く

- ①熱交換器水抜き栓→②B側水抜き栓の順に開き、空気が混ざらなくなったら閉じてください。

4.電源を入れる

（1）200V電源ブレーカーを「入」にする

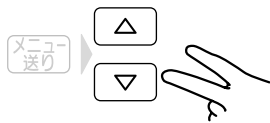
（2）貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを上げ、「入」にする

- 電源を入れると、昼間でもすぐにわき上げを開始します。（リモコンの残湯量表示は右図参照）

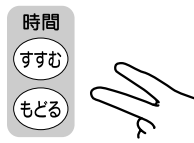
- 「深夜のみ」モード（スクエアリモコン P.14、ラウンドリモコン P.22）が設定されていると、昼間にはわき上げを行いません。夜間時間帯になるとわき上げを行います。すぐにわき上げを行うときは、手順7終了後、満タンスイッチを押してください。

5.ヒートポンプ配管の空気を抜く（強制運転）

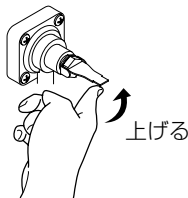
●スクエアリモコンの場合

リモコンの「△」スイッチと「▽」スイッチを同時に3秒以上押す

メニュー送り

●ラウンドリモコンの場合

リモコンの「すすむ」スイッチと「もどる」スイッチを同時に3秒以上押す

- 強制運転はヒートポンプ配管内の水を強制的に循環させるものでわき上げは行いません。
- 強制運転中はリモコンの表示部に「Air」が表示されます。
- 強制運転は約20分で終了しますので必ず終了するまで行なってください。途中で終了する場合はもう一度リモコンの「△」スイッチと「▽」スイッチまたは「すすむ」スイッチと「もどる」スイッチを同時に3秒以上押してください。
- 停止日数が設定されているときは、強制運転を行いません。

6.タンク内の空気を抜く

逃し弁のレバーを上げ、排水口から勢いよく水が出たら下げる

7.時刻を確認する

スクエアリモコン P.10
ラウンドリモコン P.19

その他の設定（給湯温度など）も工場出荷時状態に戻っていることがありますので確認してください。

8.お湯を使う

約8時間で満タンまでわき上がります。
やけど防止のため、湯水混合栓の温度調節つまみを「低」側にしてから給湯つまみを開き、適温に調整してお湯を使用します。

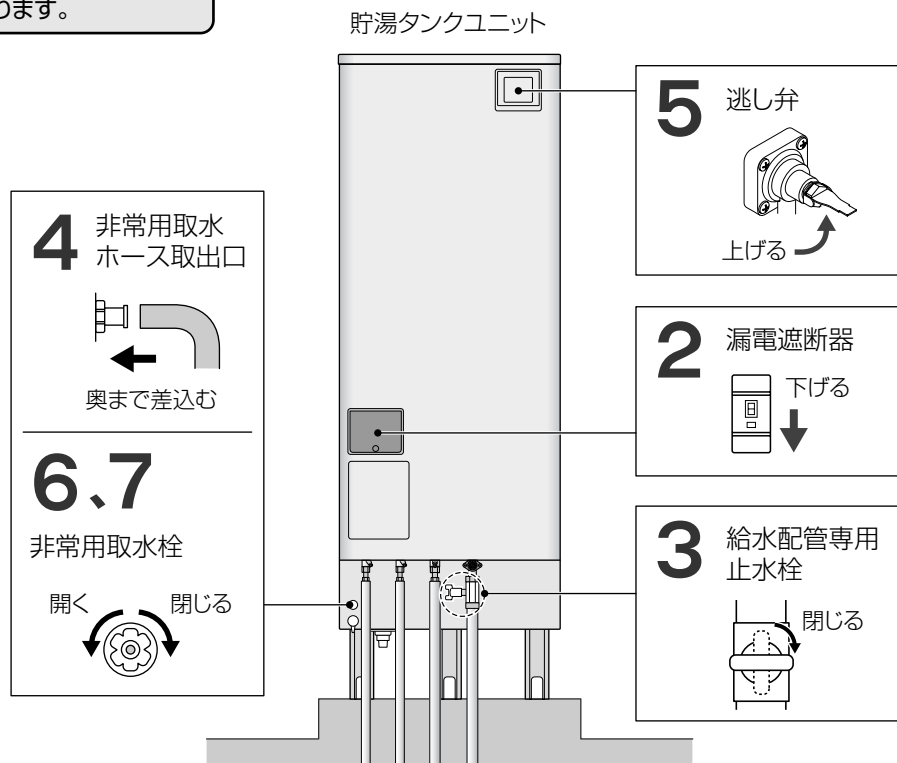
⚠警告

使いはじめは、やけどに注意する

特に朝の使いはじめは、空気の混ざった熱湯が飛び散る場合があります。

災害時にタンクの水を取り出す

タンクの水（お湯）を生活用水として利用できます。
非常用取水ホースは取扱説明書に同梱されています。

⚠警告
取水時は、やけどに注意する
取水中、急に熱湯（最高90℃）が出る場合があります。

1　貯湯タンクユニットに脚部カバーがついている場合は脚部カバーの前面カバーを外す（外しかた: P.30）

2　貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを下げ、「切」にする
電気の供給を停止します。

3　給水配管専用止水栓を閉じる
貯湯タンクユニットへの給水を止めます。

4　非常用取水ホースを取出口に取り付ける

5　貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを上げる
タンクへ空気を取り入れます。

6　非常用取水栓を開く
タンクの水（お湯）を取り出します。バケツなどで受けます。

〈取水が終わったら〉

7　非常用取水栓を閉じる

ポイント
- 再び使用するときは、逃し弁のレバーを下げ、非常用取水栓が閉じていることを確認してから、タンクに水を入れる（P.32）を行なってください。

定期点検（有料）

給湯機を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に1度定期点検（有料）を行なってください。
定期点検については、据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

❑定期点検の主な内容

項　目	内　　容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）、弁類（減圧弁、逃し弁）、給水用具（逆流防止装置）※などの点検および消耗部品の交換
清　　掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など）、貯湯タンクユニットのストレーナーの掃除

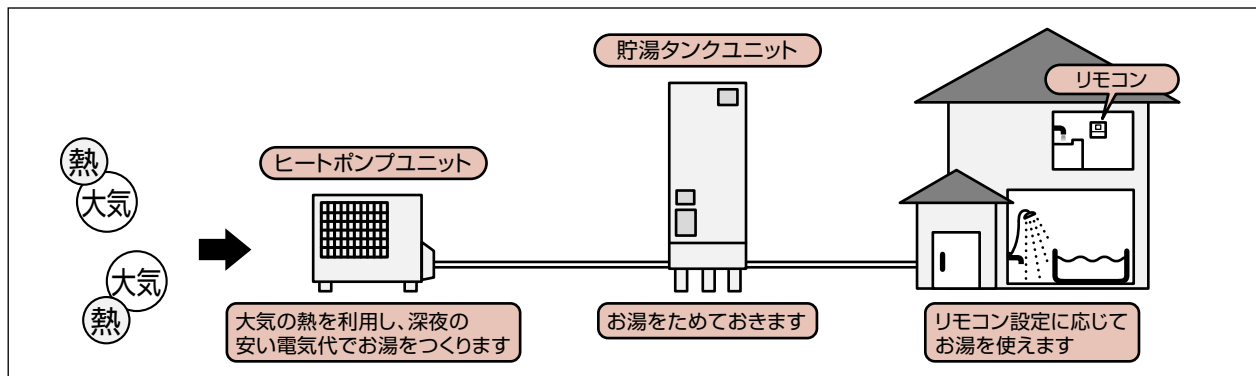
※給水用具（逆流防止装置）に関しては、（社）日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に基づいて点検をおすすめします。

❑消耗部品

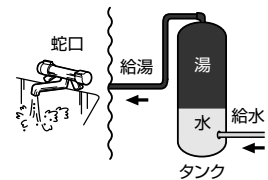
下記部品の交換時は、当社別売部品をご指定ください。

- 減圧弁
- 逃し弁
- パッキン類
- 混合弁
- ポンプ
- バイパス弁
- センサー類

機器の役割など

■機器の役割

■給湯機の基本原理

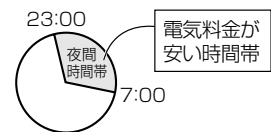
①自動給水・押上げ方式です

蛇口をひねると、タンク内のお湯は給水水圧によって押上げられ、タンク上部の給湯口より給湯配管を通って自動的に採湯することができます。使用したお湯の分だけの水が、給水口より水道水圧を利用して自動的にタンクに供給されますので、タンク内は常にお湯（水）で満たされています。

②水は体積膨張します

水がお湯になると必ず体積膨張を起こし、約3%増加します。

例えば、370Lの温水器では、約11L分増えます。この増えた分を逃す目的で逃し弁が取付けられます。わき上げ中に逃し弁からお湯が少しずつ排水されるのは、故障ではありません。正常な動作なのです。

③主に夜間に運転を行い、わき上げます

割安な深夜電力を利用して、タンク内のお湯をわき上げます。（運転モードが「通常モード」の場合、お湯が少なくなると昼間時間帯でも湯切れ防止のため自動的にわき上げを行います。）

④わき上げ中は運転音がします

運転中は運転音がします。また、ドレン口から少量の水が出ることがあります。

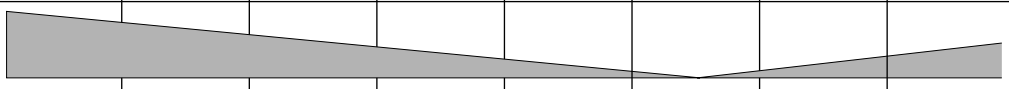
⑤タンク貯湯式です

わき上げたお湯をタンクに貯湯し、水を混合させて設定温度での給湯を行います。
そのため、タンク内のお湯を使いすぎると湯切れすることがあります。

わき上げ方法

使用湯量に合わせて、適切なモードを選択してください。
使い始めは湯切れ防止のために「おまかせ」「通常モード」に設定することをおすすめします。特に使用量が多いと思われる場合は、「多め」に設定することをおすすめします。

①「わき上げモード」は「多め」「おまかせ」「少なめ」から選べます

表示	わき上げ温度(目安)	わき上げ量	長所・短所
多め	約80℃～90℃	満タンまで	最高の温度でわき上げるのでお湯をたくさん使えます。
おまかせ	約65℃～90℃	100L～満タンまで	季節や過去の使用湯量に応じて効率よくわき上げるので省エネ効果・湯切れ防止効果があります。おすすめの温度設定です。
少なめ	約65℃～80℃	100L～満タンまで	季節や過去の使用湯量から、最小限のわき上げを行います。(湯切れの心配もあります。)

②わき増し方法を決める「運転モード」は「通常モード」「深夜のみモード」から選べます

運転モード	表示	長所・短所
通常	上部	過去使用熱量から、夜間時間帯のわき上げでお湯がたりないと予想される場合には、湯切れ防止のため、昼間に自動でわき増しを行います。 使い初めはこのモードでご使用ください。 ※スクエアリモコンのみ「上部」が表示されます。ラウンドリモコンには表示されません。
深夜のみ 昼間わき増しあり	上部 深夜のみ	夜間時間帯にわき上げた湯量以上のお湯を使ってしまっても、昼間に約50Lのわき増し(目安:シャワー1人分)を自動的に行ないます。 「通常モード」では、常に残湯表示が2つ以上点灯しているなど、お湯が余る場合にご使用ください。 ※スクエアリモコンのみ設定できます。
深夜のみ	深夜のみ	夜間時間帯のみにわき上げを行ないます。夜間時間帯にわき上げた湯量以上のお湯を使うと、リモコンに「残湯なし」が表示され、お湯が使えなくなります。 「通常モード」では、常に残湯表示が2つ以上点灯しているなど、お湯が余る場合にご使用ください。

残湯量の見かた

タンク内の残湯量(45℃以上の お湯の量)をリモコンに表示します。
お湯が少なくなったときは、各リモコンに「残湯なし」が表示されますので、満タンわき増しを使用してください。

残湯量表示					残湯なし 点滅	残湯なし 点灯	残湯なし 点灯	
お湯の量 550L機種	500L以上 (ほぼ満タン)	330L以上 500L未満	150L以上 330L未満	50L以上 150L未満	50L未満	残湯なし (湯切れ)	50L未満	50L以上 150L未満
お湯の量 460L機種	410L以上 (ほぼ満タン)	270L以上 410L未満	150L以上 270L未満					
お湯の量 370L機種	320L以上 (ほぼ満タン)	240L以上 320L未満	150L以上 240L未満					
お湯の増減								

ポイント
- 残湯量表示の「■」は45℃以上のお湯を表しています。
- 自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。

仕様

一般地向け

項目				
形名	システム	SRT-HP37N2	SRT-HP46N2	SRT-HP55N2
	ヒートポンプユニット	SRT-HPU45A2	SRT-HPU60A2	SRT-HPU72A2
	貯湯タンクユニット	SRT-HPT37N2	SRT-HPT46N2	SRT-HPT55N2
適用電力制度		季節別時間帯別電灯／時間帯別電灯（通電制御型）		
種類（設置場所）	ヒートポンプユニット	屋外専用		
	貯湯タンクユニット	屋外専用		
タンク容量		0.37m^3（370L）	0.46m^3（460L）	0.55m^3（550L）
定格電圧（周波数）		単相 200V（50／60Hz）		
ヒートポンプユニット	定格加熱能力/消費電力 ※2 ※3	4.5kW／0.915kW	6.0kW／1.22kW	7.2kW／1.60kW
	夏期加熱能力/消費電力 ※2 ※4	4.5kW／0.89kW	4.5kW／0.89kW	4.5kW／0.89kW
	冬期高温加熱能力/消費電力 ※1 ※2 ※5	4.5kW／1.50kW	6.0kW／1.78kW	7.2kW／2.5kW
	定格電流 ※3	5.0A	6.7A	8.8A
	運転音 ※6	38dB	42dB	44dB
	冷媒名（封入量）	CO_2（1.04kg）		CO_2（1.075kg）
消費電力	凍結防止ヒーター	0.048kW		
	制御用	0.020kW		
最大電流		16A	17A	19A
わき上げ温度		約65℃～約90℃		
寸法	ヒートポンプユニット（高さX幅X奥行き）	732mm ×800（＋80※）mm ×285（＋23）mm　※配管カバー寸法		
	貯湯タンクユニット（高さX幅X奥行き）	1830 × 630 × 760mm	2170 × 630 × 760mm	2100 × 700 × 825mm
質量	ヒートポンプユニット	約56kg		
	貯湯タンクユニット	約64kg（満水時 約434kg）	約74kg（満水時 約534kg）	約84kg（満水時 約634kg）
水側最高使用圧力		193kPa（逃し弁設定値）		
安全装置		漏電遮断器、缶体保護弁		

寒冷地（北海道、青森、秋田岩手を中心とした次世代省エネ基準のⅠ地域・Ⅱ地域）および最低気温がマイナス10℃を下回る地域では機器が故障するおそれがありますので、使用できません。

寒冷地向け

項目					
形名	システム	SRT-HPK37N2	SRT-HPK37ND2	SRT-HPK46N2	SRT-HPK46ND2
	ヒートポンプユニット	SRT-HPUK45A2	SRT-HPUK45A2	SRT-HPUK60A2	SRT-HPUK60A2
	貯湯タンクユニット	SRT-HPTK37N2	SRT-HPTK37ND2	SRT-HPTK46N2	SRT-HPTK46ND2
適用電力制度		季節別時間帯別電灯／時間帯別電灯（通電制御型）			
種類（設置場所）	ヒートポンプユニット	屋外専用			
	貯湯タンクユニット	屋外専用	屋内/屋外兼用	屋外専用	屋内/屋外兼用
タンク容量		0.37m^3（370L）		0.46m^3（460L）	
定格電圧（周波数）		単相 200V（50／60Hz）			
ヒートポンプユニット	定格加熱能力/消費電力 ※2 ※3	4.5kW／0.915kW		6.0kW／1.22kW	
	夏期加熱能力/消費電力 ※2 ※4	4.5kW／0.89kW		4.5kW／0.89kW	
	冬期高温加熱能力/消費電力 ※1 ※2 ※5	4.5kW／1.50kW		6.0kW／1.78kW	
	定格電流 ※3	5.0A		6.7A	
	運転音 ※6	38dB		42dB	
	冷媒名（封入量）	CO_2（1.00kg）			
消費電力	凍結防止ヒーター	0.084kW			
	制御用	0.020kW			
最大電流		18A			
わき上げ温度		約65℃～約90℃			
寸法	ヒートポンプユニット（高さX幅X奥行き）	732mm ×800（＋80※）mm ×285（＋23）mm　※配管カバー寸法			
	貯湯タンクユニット（高さX幅X奥行き）	1830 × 630 × 760mm		2170 × 630 × 760mm	
質量	ヒートポンプユニット	約57kg			
	貯湯タンクユニット	約65kg（満水時 約435kg）	約67kg（満水時 約437kg）	約75kg（満水時 約535kg）	約77kg（満水時 約537kg）
水側最高使用圧力		193kPa（逃し弁設定値）			
安全装置		漏電遮断器、缶体保護弁			

外気温がマイナス20℃を下回る極寒地では、凍結により機器が故障するおそれがありますので、使用できません。札幌以南が使用地域の目安です。

※1 低外気温時は除霜のため、加熱能力が低下することがあります。
※2 わき上げ終了直前では、加熱能力が低下することがあります。
※3 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、わき上げ温度65℃
※4 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）25℃/21℃、水温24℃、わき上げ温度65℃
※5 作動条件：外気温（乾球温度/湿球温度）7℃/6℃、水温9℃、わき上げ温度90℃
※6 定格条件下での測定（JISのルームエアコンディショナに準じ測定）

※社団法人日本冷凍空調工業会 標準規格JRA4050に基づいた表示です。
〈定格条件〉外気温（乾球温度/湿球温度）16℃/12℃、水温17℃、わき上げ温度65℃

製品形名に「D」の付くタイプには、万一、貯湯タンクユニット内で水漏れが起こった時、貯湯タンクユニットへの給水を自動的に止めて水漏れによる被害拡大を抑制する機能があります。（タンク内に貯まっているお湯（水）までストップするものではありません。）
また、形名に「BS」「BSG」の付くタイプは、塩害地へ設置できる構造となっています。

故障かな？と思ったら

	症状	処置･確認事項
お湯	お湯が出ない 出が悪い	●給水配管専用止水栓が閉じている場合は、開いてください。 ●断水時は、断水が終わるまで待ってください。 ●配管凍結している場合は、給水配管専用止水栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。
	お湯が足りない	●お湯をたくさん使用した場合は、満タンわき増しをご利用ください。（スクエアリモコン P12、ラウンドリモコン P20） ●わき上げモードの設定が「少なめ」の場合は、「おまかせ」または「多め」へ設定を変えてください。（スクエアリモコン P13、ラウンドリモコン P21） ●運転モードの設定が「深夜のみ」の場合は、「通常モード」へ設定を変えてください。（スクエアリモコン P14、ラウンドリモコン P22） ●リモコンに「わき上げ中」が表示されていないときに、逃し弁の排水口から水（お湯）が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。（ P26 ）
	お湯がわかない	●200V電源ブレーカーまたは漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は、「入」にしてください。 ●停止日数設定中は、停止日数を解除し、満タンわき増しを利用してください。（スクエアリモコン P12、ラウンドリモコン P20）
	お湯が白く濁って見える	●水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となってでてくる現象です。少し時間をおくと消えます。
	お湯から油がでる、 お湯が臭い	●初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。臭いが気になる場合は本書の手順（ P30 P32 ）によりタンク内の湯を入れかえてください。
	タンク内の温度が 設定した温度より低い	●わき上げ温度はヒートポンプユニットでわき上げるお湯の温度です。途中の配管の放熱などにより、タンクにたまるお湯の温度は、わき上げ温度よりも低くなります。 ●タンク内の温度は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下します。
	蛇口のお湯が設定 温度より低い	●配管の放熱によって、温度が低くなることがあります。
	浴槽や洗面器等 に青い線がつく	●湯あかと銅配管等から溶出した銅イオンが反応して不溶性の青い銅石けんが付着したもので、身体に害はありません。台所用の油汚れ専用の洗剤をスポンジにつけてこすれば除去できます。こまめな清掃により湯あかがつかないようにすれば防止できます。
	浴槽の水が青く見える	●光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。浴槽等はよく洗ってください。青い線がつきにくくなります。
給湯機	貯湯タンクユニットの 排水口からお湯（水） が出ている	●わき上げ中（リモコンに「わき上げ中」が表示されている場合）は体積が増えた分のお湯が少しずつ排水されます。正常動作です。 ●リモコンに「わき上げ中」の表示がないときにお湯（水）が出ている場合は、逃し弁の点検を行なってください。（ P26 ）
	ヒートポンプユニット が運転／停止を繰り返す	●気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転／停止を繰り返します。
	ヒートポンプユニット から水が出ている	●運転中はドレン口から少量の水が出ることがあります。
	昼間にヒートポンプ ユニットが動く	●夜間時間帯のわき上げだけでは湯量が足りない場合、昼間時間帯に不足分のわき上げを行います。（過去1週間の使用湯量を学習して、その日の必要湯量を予測します。） ●冬期はヒートポンプ配管の凍結防止のため、ヒートポンプユニットが動くことがあります。

	症状	処置・確認事項
給湯機	運転モードを「深夜のみ」に設定していても昼間にヒートポンプユニットが動く 運転停止を設定していてもヒートポンプユニットが動く	●外気温度が低下すると、凍結防止のための運転を行うことがあります。 ●「深夜のみモード」で「上部」が設定されている場合（P14）は、お湯が少なくなると昼間でもわき増しを行います。（スクエアリモコンのみ） ●「電力契約モード」がお客さまの電力契約と合っていない場合は、設定し直してください。（スクエアリモコンP16、ラウンドリモコンP25）
給湯機	夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行わない	●給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐにわき上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせてわき上げを完了させます。（ピークシフト機能）
給湯機	わき上げ運転中ヒートポンプユニットの背面が霜で白くなる	●冬期運転中は蒸発器のフィンに霜がつくことがあります。 ●フィンに付着した霜がファンにあたり、音が出ることがあります。
リモコン表示部	点灯しない（電源が入らない）	●漏電遮断器の電源レバーが「切」になっている場合は「入」にしてください。再度「切」になる場合は、そのまま据付工事店（販売店）へご連絡ください。
リモコン表示部	リモコンの時刻表示が「00:00」で点滅する	●時刻を合わせ直してください。（スクエアリモコンP10、ラウンドリモコンP19）
操作	設定したわき上げ温度までわき上がらない	●以下のことを行うとタンク内の湯温がわき上げ温度まで上がらない場合があります。配管からの放熱や外気温度が低い場合も同様です。 ①リモコンに「わき上げ中」が表示されているときにお湯を使用した場合 ②わき上げモードの設定をかえた場合 （「少なめ」→「多め」または「おまかせ」→「多め」） ③給水水温が低く、残湯量が少ない場合 ●給水水温…10℃以下 ●残湯量…20L未満 ④外気温度が低い場合 機器の保護のため、外気温度がマイナス10℃以下（寒冷地向けはマイナス20℃）になると、わき上げ温度を自動的に約65℃に調整します。（リモコンでのわき上げ温度設定に関係なく低く調整します。）
操作	満タンスイッチを押してもわき上げを開始しない	●タンク内が既にわき上がっている場合は、わき上げを行いません。「満タンわき増し」を設定するとタンク内のお湯が約50L以上減ったとき自動的にわき上げを開始します。
操作	お湯を使っていないのに残湯量表示が消える	●自然放熱などで、タンク内のお湯の温度が下がると、お湯を使わなくても表示が変わることがあります。
操作	音声ガイダンスが聞こえない	●「音声を切ります」以外の設定にしてください。（スクエアリモコンのみ）

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口（P43）」へご相談ください。

リモコンにエラーが表示された場合

リモコンにエラーが表示された場合は、下記にしたがって処置をしてください。
処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの「三菱電機 修理窓口（P43）」へご相談ください。

表示	原因･処置
U00	● 給湯機の給水口にお湯が供給されています。給湯機の給水口に水を供給してください。ソーラー温水器や給湯機が接続されている時は据付工事店（販売店）または「三菱電機　修理窓口」へご連絡ください。 ● 給水配管専用止水栓が閉じているときに湯側の蛇口を開きました。給水配管専用止水栓を開いてから、湯側の蛇口を開いてください。（P30） ● 断水時や配管が凍結しているときに湯側の蛇口を開きました。断水時は断水が終わるまで待ち、湯側の蛇口を開いてください。凍結しているときは、給水配管専用止水栓を閉じて、据付工事店（販売店）へご連絡ください。
H03	● 給湯機とリモコンが正しい組み合わせではありません。据付工事店（販売店）へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。
H 10	● 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。（わき上げも行いません。） 正しい組み合わせでも「H10」が表示される場合は、据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。
H 11	● 貯湯タンクユニットとヒートポンプユニットが正しい組み合わせではありません。据付工事店へ連絡し、正しい組み合わせのものと交換してください。（わき上げは行います。）
その他の表示（E05）など	● 給湯機の点検が必要です。200V電源ブレーカーと本体の漏電遮断器の電源レバーを「切」にし、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店（販売店）または「三菱電機 修理窓口」へご連絡ください。（P30 P43）

アフターサービス

■保証書（添付）

●保証書は、必ず「お買上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。）

●据付工事説明書（別添付）で指定されていない別売品を用いて使用した場合、故障が生じたときには責任を負いかねます。

保証期間	お買上げ日から2年間です。ただし、ヒートポンプユニット内の熱交換器・コンプレッサーは3年間、タンクは5年間です。

※保証期間を延長できる「延長保証制度」があります。（詳細は下記参照）

■補修用性能部品の保有期間

●当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

●お買上げの販売店かお近くの「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（右一覧表）へご相談ください。

■修理を依頼されるときは

●「故障かな？と思ったら」（P.39）にしたがってお調べください。なお不具合がある場合は、電源を「切」にしてから、据付工事店（販売店）にご連絡ください。

●保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって据付工事店（販売店）が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

●修理料金は

技術料＋部品代（＋出張料）などで構成されています。

●ご連絡いただきたい内容

- ●品名：三菱 自然冷媒 ヒートポンプ式電気給湯機
- ●形名：（例）SRT-HPT37N2（エスアールテー エイチピーテー エヌ）
- ●お買上げ日：年月日
- ●故障の状況：できるだけ具体的に
- ●お名前・ご住所（付近の目印なども）・電話番号・訪問希望日

※形名は貯湯タンクユニットの前面カバーに表示されています。（P.7）

延長保証制度

延長保証期間が 8年間 と 5年間 の2タイプご用意しています。

〈保証期間〉

延長保証期間8年間の場合

商品購入日から8年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で8年間となります。

申込有効期間 3カ月以内
〈例〉ご購入日　1年後　2年後　3年後　4年後　5年後　6年後　7年後　8年後～
メーカー保証2年　延長保証　通常の有料修理

延長保証期間5年間の場合

商品購入日から5年間の長期保証
メーカー保証期間と延長保証期間の合計で5年間となります。

ご購入日　1年後　2年後　3年後　4年後　5年後～
メーカー保証2年　延長保証　通常の有料修理

●製品ご購入時あるいはご購入日から3カ月以内にお申し込みください。●延長保証はメーカー保証終了後からのスタートとなります。延長保証は、メーカー保証を含め、ご購入日〈使用開始日〉から8年間または5年間の長期保証となります。また延長保証は終了後は通常の有料修理に移行いたします。●保証金額は本体のご購入価格が限度となります。●当制度の詳細は三菱電機延長保証申込受付センターまでお問い合わせください。

〈保証内容〉延長保証期間中に対象商品に故障が発生した場合に、修理費を保証します。 保証する修理費用 ＝ 技術料 ＋ 部品代 ＋ 出張料

〈延長保証対象商品と保証料〉

ヒートポンプ式電気給湯機
三菱エコキュート
8年間保証料24,400円（税抜価格23,238円）
5年間保証料11,340円（税抜価格10,800円）

2007年7月現在（保証料は変更する場合がありますのでご注意ください）

資料のご請求はこちらへ **三菱電機延長保証申込受付センター**

0120-867-789

受付時間：平日午前9:00～午後5:30
（年末年始を除く）

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内（家電品）

修理・取扱いのご相談は まずお買上げの販売店へ

転居や贈答品などで お買上げの販売店へ ご依頼できない場合は

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的並びに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合及び下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示する事はありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

修 理 窓 口　電話受付：365日 24時間

北海道・東北地区

北海道全域・宮城県

東日本フロントセンター
東京都世田谷区池尻 3-10-3
フリーダイヤル 0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応） (03) 3424-1111
ファックス (03) 3424-1115
インターネット www.melsc.co.jp

地区	電話番号	住所
青森	(017)773-8381	青森市大字野木字野尻 37-184
八戸	(0178)28-8544	八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8
盛岡	(019)637-7454	盛岡市羽場13地割30-11
水沢	(0197)25-4511	奥州市水沢区卸町2-3
秋田	(018)865-4471	秋田市八橋三和町19-36
横手	(0182)32-1785	横手市卸町 3-2
大館	(0186)42-2781	大館市餅田 2-5-44
山形	(023)624-0018	山形市大野目 2-1-21
鶴岡	(0235)24-6161	鶴岡市上畑町 5-4
郡山	(024)959-6543	郡山市喜久田町卸1-76-1
会津	(0242)27-4426	会津若松市天神町25-39
原町	(0244)24-2842	南相馬市原町区桜井町 1-173
いわき	(0246)26-1822	いわき市小島町 1-2-2

関東・甲信越地区

東京都・神奈川県・千葉県・茨城県
埼玉県・栃木県・群馬県・山梨県
長野県（飯田地区除く）・新潟県
静岡県

東日本フロントセンター
東京都世田谷区池尻 3-10-3
フリーダイヤル 0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応） (03) 3424-1111
ファックス (03) 3424-1115
インターネット www.melsc.co.jp

関西・東海・北陸・中国・四国地区

大阪府・奈良県・和歌山県・兵庫県
京都府・滋賀県・愛知県・三重県
岐阜県・長野県（飯田地区）
石川県・富山県・福井県・広島県
山口県・島根県・鳥取県・岡山県
香川県・徳島県・高知県・愛媛県

西日本フロントセンター
大阪市北区大淀中 1-4-13
フリーダイヤル 0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応） (06) 6454-3901
ファックス (06) 6454-3900
インターネット www.melsc.co.jp

九州地区

福岡県・佐賀県

東日本フロントセンター
東京都世田谷区池尻 3-10-3
フリーダイヤル 0120-56-8634
通常電話番号（携帯電話対応） (03) 3424-1111
ファックス (03) 3424-1115
インターネット www.melsc.co.jp

地区	電話番号	住所
長崎	(095)834-1116	長崎市丸尾町 4-4
佐世保	(0956)30-7740	佐世保市木原町 155-1
熊本	(096)380-0211	熊本市石原 1-10-35
八代	(0965)33-5173	八代市緑町 13-1
大分	(097)558-8803	大分市向原西 1-8-1
宮崎	(0985)56-4900	宮崎市大字赤江字飛江田 150-1
延岡	(0982)21-3540	延岡市惣領町 25-5
鹿児島	(099)260-2421	鹿児島市卸本町 7-17
沖縄	(098)898-3333	宜野湾市大山 7-12-1

ご 相 談 窓 口

当社家電品の購入・取扱い方法・その他ご不明な点は

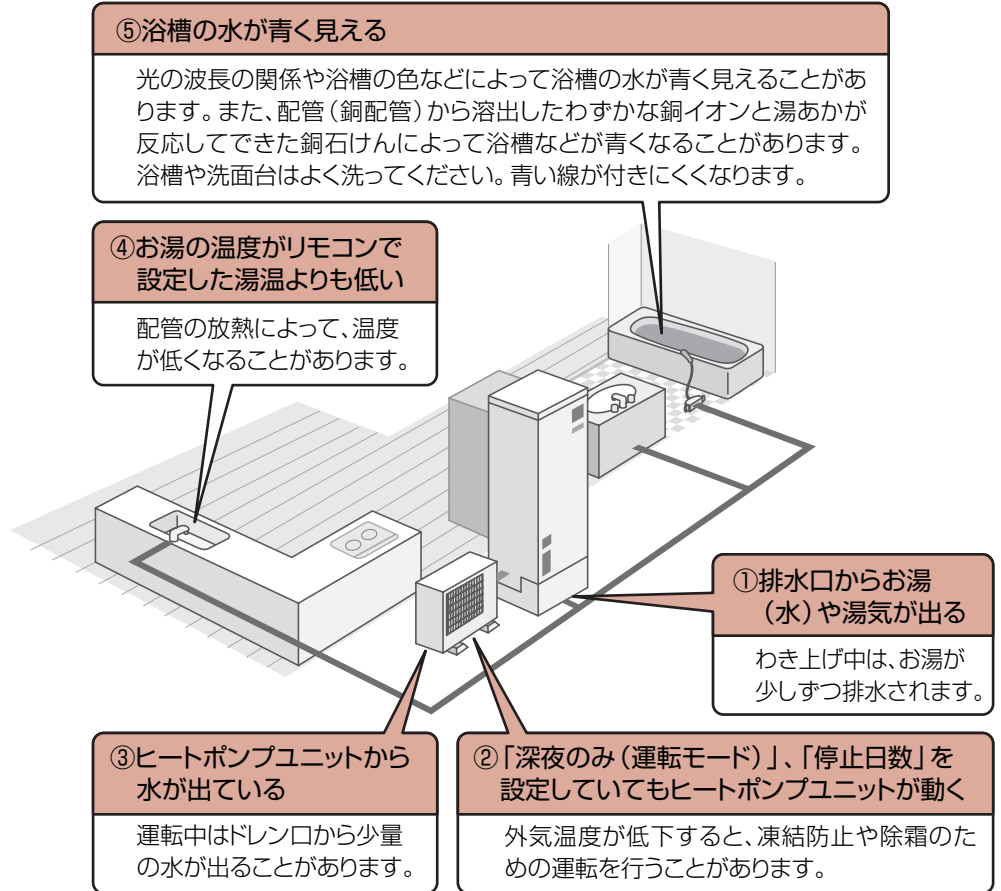
三菱電機お客さま相談センター
〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3
受付時間 365日 24時間

■全国どこからでも おかけいただけるフリーコール
0120-139-365（無料）
いつも サンキュー 365日
■通常電話番号（携帯電話対応）03-3414-9655
■ファックス 03-3413-4049

■ご相談対応 平　日 9：00〜19：00
土･日･祝 9：00〜17：00
上記以外の時間は受付のみ可能です。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

K07A

困ったときは

■ スクエアリモコン参照ページ
○ ラウンドリモコン参照ページ

よくあるご質問

⑤浴槽の水が青く見える

光の波長の関係や浴槽の色などによって浴槽の水が青く見えることがあります。また、配管（銅配管）から溶出したわずかな銅イオンと湯あかが反応してできた銅石けんによって浴槽などが青くなることがあります。浴槽や洗面台はよく洗ってください。青い線が付きにくくなります。

製品形名〈製造番号〉	SRT- 〈　　　　〉	据付工事店（販売店）の店名・住所・電話番号
リモコン形名	RMC-	
お買上げ日	年　月　日	

点検・修理時の覚え書きとしてご使用ください。

愛情点検

★長年ご使用の給湯機の点検を!　●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後10年です。

こんな症状はありませんか	●水が漏れている ●時々漏電遮断器がはたらく。 ●その他の異常や故障がある。		ご使用中止	故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理（有料）をご相談ください。

三菱電機株式会社

群馬製作所　〒370-0492 群馬県太田市岩松町800
電話番号　0276-52-1111（代表）

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

T965Z060H03〈2007-08〉